

令和3年度福山市立多治米小学校の第2学期を始める式、始業式のお話をします。福山市でも新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、思わぬ形での2学期スタートです。隣の席のお友達と1.5メートルの間隔が取れない教室では、人数を減らして授業することになりました。みなさんが学校で絶対に感染しないということを第1に考え、午前と午後に分けて登校します。「緊急事態宣言」という言葉をきいていると思いますが、多治米小学校もまさしく「緊急事態」です。緊張感を持って2学期をスタートさせましょう。感染も心配です。いつもと違う登下校も心配です。一人で学ぶりモート学習も心配です。たくさんの心配を抱えて、登校した人も多いと思います。でも大丈夫です。決して一人ではありません。先生たちも全員で、全力でみなさんを応援します。この緊急事態をみんなで力を合わせて必ず乗り切りましょう。そして、この分散登校があったからこそ、一人でなんでもできる力がついたと言える充実した毎日にしていきましょう。

さて、長い2学期のスタートです。このような状況ですから、いつも通りの学校行事ができるかどうかはわかりません。人とつながることが難しいからこそ、一人一台のタブレットを持つ生活を始めた今だからこそ、是非みなさんに「読書する楽しさ」を知ってほしいと願っています。多治米小学校の図書室には、いろんなジャンルの本がそろっています。(『元素図鑑 宇宙は92個の元素でできている』『アフガニスタンの少女マジャミン』『はたらく細胞』を紹介)

図書室で、これ読みたいと思う本をどんどん借りてください。読み始めて「おもしろくない。」と思ったら最後まで読む必要もありません。次々とちがう本を読んでいると、きっと自分にぴったりくる本に出合えます。それを繰り返していると、だんだん高い確率で、自分のお気に入りの本を探せる力がついてきます。そんな力がつくと「今まで気づかなかったけど、自分はこんなことに興味があるんだ。」と今まで知らなかった自分を発見できます。また「世界中の人たちはこんな考え方をするんだ。」と実際の生活の中では絶対に出会えないような人やものごとに出会うこともできます。それは自分自身が広がったり深まったりすることです。でも読書は頑張ることではなく、楽しくてやめられなくなることのひとつです。とてもわくわくすることなので、まだこのわくわく感を知らない人にも読書する楽しさが広がればよいと思っています。学級文庫にもたくさんの本を寄付していただきました。分散登校で自主勉強の時間も増えます。「何したらいいだろう」と悩むときもたくさんあると思います。そんなとき是非気になる本を手にとってみてください。2学期、多治米小学校にたくさんの読書好きが生まれることを願っています。これで始業式のお話を終わります。